

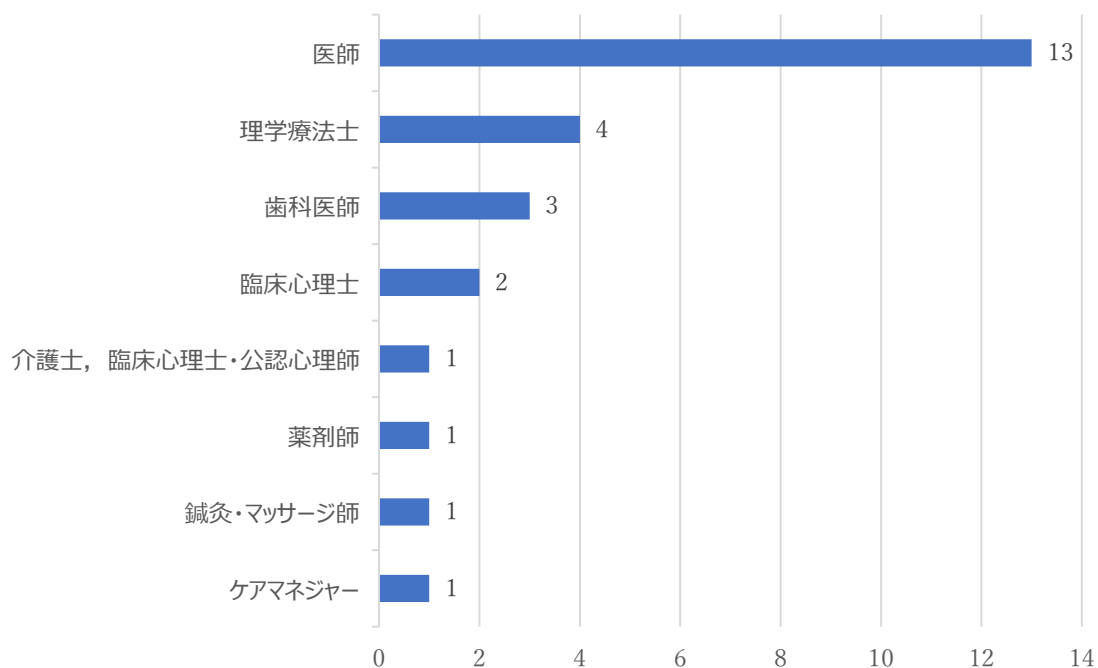
# 多診療科セミナー×集学的診療セミナー@福井大学 アンケート集計結果

2022年10月30日(日) 10:00~13:00 (ハイブリッド開催)

参加者数 計 61名 (オンライン 48名 現地参加 4名 登壇者 9名)

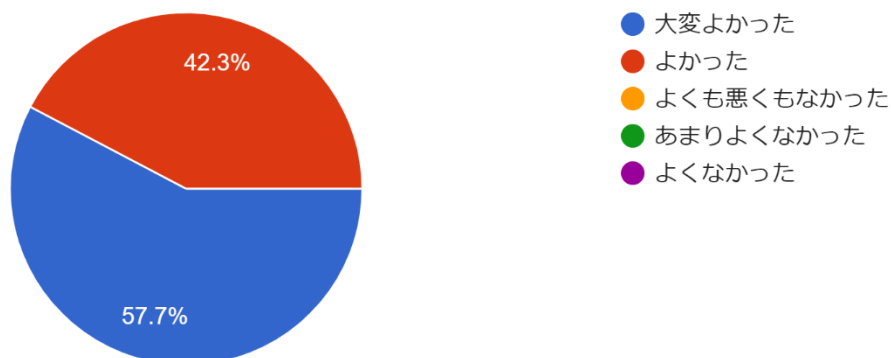
## 1. あなたの職種について教えてください

26件の回答



## 2. 本セミナーの感想をお聞かせください。

26件の回答



### 3. 本セミナーについてご意見・ご感想をご記入ください。

- ・久郷先生の話に特に興味を持ちました。集団治療・理学療法士教育でクリニックでどこまでできるか課題を持ちました。ディスカッションでは精神科の先生の生の声がきけて良かったです。
- ・特に刺激療法と心理の講演にきたいして、内容も思っていた以上に満足できました。
- ・急用でリハビリ連携のご講演のところからの参加になりましたが、その後のシンポジウム含め大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・疼痛分野における多職種連携の重要性がよくわかりました。心理職として、スキルを身につけていく必要性を感じましたが、同時に、心理の仕事が、一日も早く診療報酬の対象になることを願うばかりです。
- ・薬剤の処方意図が明確になった。
- ・多職種の見方を一度に知ることが出来たのが良かった
- ・事前に資料を用意して頂けたのが良かったです
- ・大変ためになりました
- ・特になし
- ・障害部位によって投薬の効きが違うことをはじめて知った。
- ・素晴らしい企画です
- ・各分野でどのような治療の選択肢があるのかを理解できました。ありがとうございました。
- ・ありがとうございます。私は、整形外科医ですが、慢性疼痛を感じられるのは、経験以外に、周りの専門職種。心理学者、理学療法士、あらゆる仲間達が必要と感じられました。
- ・コメディカルの先生のお話が特にわかりやすく、参考になりました。当院でも積極的に考えていきたい内容でした。
- ・午前、午後と短時間ずつの講演で聞きやすかったです。

### 4. 今後のセミナーについてのご要望がありましたらご記入ください。

- ・これからも様々な職種に難しくなく聴けるセッション・専門医の先生のお話が聞ける難しいセッションなど期待しています
- ・物理療法や運動療法や 代替医療分野も含め、具体的な除痛方法を教授いただきたい
- ・特になし
- ・慢性疼痛について治すコツがあれば臨床に合わせてセミナーを行って欲しい。
- ・続けて欲しいです。
- ・また、新しい脳ビジネス。について知りたいと思います。
- ・他職種の関わった事例などをたくさん知りたいと思っています。

- ・ ACT においては心理的なアプローチとともに、社会的なアプローチが重要と感じた。数十年続けてきた作業については本人としては「できて当然」という固定概念が。「動きすぎ」や「あせり」につながりやすいのではとも。

## 5. その他

- ・ 急な所用で入室が遅くなり、酒井先生のご講演に間に合わず、大変残念でした。またの機会にぜひまた聴かせて頂ければ助かります。
- ・ ACT の概念を介護保険の予防事業等での LIFe に組み込まれたらと。。慢性疼痛により生活支援が必要な場合の障害サービス利用方法がもう少しアクセスしやすくなったと思う。精神障害手帳のように期間限定等。メンタル的には特に支障はない方に精神障害手帳申請についてはなかなか受け入れてもらにくい。

## 6. 本セミナーをどこでお知りになりましたか。（複数回答可）

26 件の回答

